人と、木と、おけと

笑顔と夢を
未来につなぐまち

広報おけと KETO

2023 1

困難を乗り越え、飛躍の年へ

置戸町長　深川　正美

新年、明けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、輝かしい新年を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より町政の推進に格段のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

町長に就任して、２年６か月が経過いたしましたが、この間、新型コロナウイルスは感染拡大と減少を繰り返し、いまだ終息の兆しは見えておりません。しかし、このような中でも感染予防を徹底しながら、経済活動や社会活動、日常生活を営むスタイルが定着してきました。

本町においては、置戸赤十字病院による迅速なワクチン接種対応や適切な感染者受け入れ体制の整備など、町民の皆さまの不安解消に大きく貢献いただいております。また、国や北海道とも連携した各種経済対策を実施するとともに、アフターコロナを見据えた光ファイバー網の整備と福祉施設や避難所となる各公民館のエアコンやＷｉ-Ｆｉ整備を進めてまいりました。引き続き、商工会と連携した物価高騰や消費拡大対策、また、急激に悪化している畜産業への緊急支援対策や資材高騰対策、スマート農業の推進や林業の近代化など、基幹産業の振興を図ってまいります。

本町の人口は2,700人を割り、「働く人、担い手不足」が経済活動のみならず、地域活動へ及ぼす影響が深刻になっております。労働人口の受入れや移住対策の充実により人口減少の抑制を図り、生活を支える商工業やサービス業の活性化や後継者対策に取り組んでまいります。

近年、地球温暖化による異常気象や災害発生が世界的に頻発していることに加え、昨年２月のロシアによるウクライナ侵攻により世界経済の混乱を招き、石油やガス、電気、食料品などあらゆる価格が高騰しており、私たちの日常生活に大きな影響が生じています。世界では、全人口の１割にあたる８億人が食糧危機にある一方で、国内では全世界の食糧支援量を超える量の食品が毎年廃棄されています。大量生産、大量消費の社会を、一人ひとりが疑問視し見直さなければ、取り返しのつかない未来となることを認識する必要があります。

本町では、地球温暖化の原因とされるＣＯ２排出量は、豊かな森林資源によって吸収量の方が高いとされていますが、太陽光など自然エネルギーの利活用や省エネに取り組むための計画策定に着手いたします。また、懸案でありました児童館建設に向けた計画策定や勝山郵便局の移設などを着実に進めるとともに、特別養護老人ホームや役場庁舎、町営住宅など老朽化する公共施設の計画的な修繕や建て替えに向けた検討を始めてまいります。

卯年である本年は、ウサギの穏やかで温厚なイメージから家内安全の年と言われる一方、その飛び跳ねる姿から飛躍や向上、そして新たなことへの挑戦に最適な年とも言われております。町民の皆さまとともに、今のこの困難を乗り越え、笑顔あふれるまち、安心して暮らし続けられるまち、誰もが住みたいと思うまちづくりを進めてまいります。

結びになりますが、皆さまの健康とご多幸をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

遺すモノ
～人口2，600人、将来を見据えた希望ある「まちづくり」を～

置戸町議会議長　岩藤　孝一

明けましておめでとうございます。

年頭にあたり、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

皆さまにおかれましては、希望に満ちた輝かしい新年を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。

日頃より議会運営に対して多くのご支援とご協力をいただいていますこと、深く感謝を申し上げる次第です。新年を迎え、議会としての責任の重さを改めて感じるとともに、置戸町のさらなる発展のために引き続き努力してまいりたいと決意を新たにしているところであります。

昨年を振り返りますと、３年間にも及ぶ新型コロナウイルス感染症の猛威に全国的に翻弄された１年でありました。国内では累計で2，700万人を超える感染者数、５万人を超える方々がお亡くなりになるという状況であり、収束と拡大が交互に続くコロナ禍の中、窮屈な環境での生活、まさにウィズコロナの１年間だったと思います。

７月には降雹やゲリラ豪雨により農作物などが大きな被害を受けました。加えてロシアのウクライナ侵攻による原油高、円安による物価高など、家計に大きな打撃を与えた年でもありました。

大きく生活様式が変わる中でも嬉しい話題もありました。光ファイバーケーブルの全町敷設整備、規模を縮小しての夏まつり。そして中止続きであった各地区の盆踊り大会が催されました。また、念願でありました置戸高校の全国募集枠の拡大など、将来に向けて希望が開けることでもありました。

本町の人口は2，700人を割り込み2，600人台となっております。全国的な少子高齢化の中で歯止めをかけることは容易ではないことであります。先日、中央公民館で公演された演劇「遺すモノ～楢山節考より～」のテーマとして表現されていた「遺すモノ」は置戸町のような小さな自治体運営に対して、或いは町民の意識改革として大きな指針を与えてくれたと感銘しています。置戸町には置戸らしい文化や伝統があります。世界や日本の状況がどう変化しようと、「遺すモノ」を探し、そして大切にして生活していくことが重要なことだと再認識させられました。

「まちづくりは人づくり」を基本理念として、「第６次総合計画」に基づき、行政運営がなされています。ないモノは無い、今ある置戸の宝を十分に活用した将来へ向けた「まちづくり」が重要だと考えます。議会としても町民の皆さまとともに代表機関として、監視し、提案もしていきたいと考えておりますので一層のご理解ご協力をお願い申し上げます。また、今年は議会議員の改選期であります。議会改革の１つとして議員報酬の増額を決めさせていただきました。議員のなり手不足と言われています。議会のネット配信など、議会改革を進めてまいりましたが、更なる改革を行っていく所存であります。

結びにあたり、コロナワクチン接種や感染予防に対しまして置戸赤十字病院をはじめ関係各位のご尽力にあらためて感謝申し上げる次第です。新型コロナウイルス感染症の早期終息を願いつつ、活力にあふれ町民の皆さまが笑顔で暮らせる素晴らしい希望に満ちた年になりますよう心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

年男・年女が語る

卯年（うさぎどし）生まれの６名の方々に、日々の生活や

陶芸は元気の源

陶芸サークル「山神窯」で活動を続ける西岡さん。昔からものづくりが好きでチーズやバターも作っていたそうです。現在は毎日の陶芸と週に１回必ず豆腐を作ることが日課になっています。

陶芸を始めたきっかけは、公民館教室で講師を務めていた先生との出会い。そこから、昭和63年に陶芸サークル「山神窯」が誕生し、当初から所属しています。「陶芸はいろいろな形やものを自由に作れるところが楽しい。ただ、１人で陶芸をするのもいいけど、やっぱり人とお話ししながら陶芸をした方が楽しい」と陶芸の魅力を話してくれました。

今年の抱負を伺うと「自分が作った作品の展示会をやってみたい。あとは楽しく過ごしたいですね」と笑顔を見せてくれました。

西岡 和子さん（常盤）

昭和14年生まれ

健康に気をつけて仕事を（正文さん）
バレーもスキーも頑張る（美南さん）

親子で卯年の正文さんと美南さん。正文さんは、約80頭の乳牛を飼育する酪農家。「酪農は生き物のお世話をする仕事なので休みがなく大変。良質な牛乳を搾れるように牛の健康に気をつけています」と日々の生活を振り返りました。今年の抱負を伺うと「健康に気をつけてケガなく仕事をしたい。早くコロナが収まって家族で遊びに出かけたいですね」と話してくれました。

小学５年生の美南さんは、３年生からバレーボール少年団に入って練習しています。お母さんやお姉ちゃんの練習を見ていたことがきっかけで始めたそうです。今年は勉強やバレー、スキーも頑張りたいとのことで「スキー検定で２級を目指したい」と目標を話してくれました。

安藤正文さん・美南さん（北光）

昭和50年生まれ・平成23年生まれ

2023年私の抱負

今年の抱負について語っていただきました。

健康には食事が大事

「昨年を振り返ると、コロナ禍で家から出ることや行事などに参加することが億劫になっている人も多いなか、少しずつ町の行事が開催され、お手伝いや行事に参加できたことが印象に残っています」と話す植野さん。

ものづくりサークル「花うさぎ」に所属し、昨年の行事にも複数回参加して手作りの物やワッフルを販売しました。サークル活動は「花うさぎ」が誕生した10数年前から続けています。

普段は、家事のほかに旦那さんと一緒に味噌づくりをしているそうです。元気に過ごすため、外食はあまりせずに、家で健康的な食事を気にかけているという植野さんに今年の抱負を伺うと「元気で健康に無理なく過ごすこと」と話してくれました。

植野　トミ子さん（西町）

昭和26年生まれ

仲良く充実した1年に

置戸町出身の陸さんは、置戸町役場で働いて５年目。北見市出身の優さんは北見市で会社員として働いています。お２人は高校の同級生でお互い社会人になり、ふとしたきっかけで連絡を取り合ったことで交際がスタート。３年の交際期間を経て、昨年５月にめでたく入籍しました。

昨年は入籍してから仕事と家庭でバタバタと目まぐるしく過ぎていった１年だったそうです。最近は、夫婦でアイドルグループのＳｎｏｗＭａｎ（スノーマン）に夢中でライブに行ってみたいそうです。

そんな仲良しのお２人に今年の抱負を伺うと「心に余裕を持って仕事と家庭を両立させ、幸せな家庭を築いていきたいですね。道外旅行にも行きたいです」と笑顔で話してくれました。

齊藤　陸さん・優さん（栄第一）

平成11年生まれ

11/22、24 置戸小学校学芸会

1年生劇「うたのきらいな王様」

2年生音楽「みんな大すきドラえもん」

5年生劇「お母さんの木」

6年生劇「ユタと不思議ななかまたち」

11/29 老人クラブ連合会スポーツ交流会

スカットボールで交流、75人が参加

ひとまち おけと

12/10 いきいきライフ・フェスティバル 2022

家族でピンシャキ！オケトdeたいそう

12/4 第43回全町女性交流会

講演「自然と生命の大切さ」（自然写真家 山本光一氏）

小中一貫教育、スマホの注意点を学ぶ

小中一貫教育の授業として、置戸小学校５，６年生と置戸中学校の生徒などを対象とした「スマホ・ケータイ安全教室」が行われました。教室では、友人とのメッセージのやりとりでトラブルの原因となる行動や言動などの再現映像もあり、講師から「スマートフォンは便利でさまざまな経験ができる反面、トラブルに繋がることも多い」と注意を呼びかけました。

町行政評価委員会が報告書を答申

町の事務事業を町民の目線で検証する町行政評価委員会が12月７日、令和３年度の外部評価報告書をまとめ、深川町長に提出しました。委員会では、未来へはばたけ応援事業の外９事業を評価対象とし審議されました。重点項目として、各事業に共通する情報発信について、情報の受け手を意識した効果的な見せ方など、内容や方法の創意工夫を求めました。

秋田しめ飾り・しめ縄作り講座

毎年恒例の「しめ飾り・しめ縄作り講座」が、12月11日に秋田地区住民センターで行われました。この日のために、７月初旬に材料となるスゲ草を刈って長期間乾燥させ、準備を進めてきました。子どもから大人まで20人程が参加し、３人一組で協力しながらスゲ草を編み、飾り付けをして完成。出来上がった作品を見て、満足そうな笑顔を浮かべていました。

心を込めた一品、手作り雑貨市

町民の手作り作品を集めた雑貨市「第18回キッチンファクトリー」が３年ぶりに中央公民館で開かれ、ものづくりグループなど16団体が出店しました。会場には、フェルト、陶芸、ガラス、ドライフラワー、ビーズ、レジンなどの作品を展示販売。また、ハンバーガーやおけばんばくんうどんなどのフード販売もあり、多くの来場者が訪れて賑わいました。

まちづくり移動町長室を開催しました

今回は、先月号（広報おけと12月号）に引き続き、勝山地区と置戸地区について掲載します。各地区からは多くのご意見やご提案をいただきましたので、主な内容についてご紹介します。
（掲載スペースの都合上、内容を抜粋して掲載しています。）

勝山地区

●11月11日（金）●勝山公民館 ●参加者12人

【テーマ】勝山地区住民の交通手段の確保について（北見バス、地域巡回バス）

町民の移動手段のひとつである地域巡回バスは11月1日から運行時間の見直しや便数の増便、また、一部の運行路線では事前予約制を導入するなど試験的な運行が開始され、今後アンケートを実施する予定であります。北見バスは、人口減少や新型コロナウイルス感染症の影響などにより利用者数が伸び悩み、厳しい経営状況が続いており、北見勝山線の路線維持のため１市３町（北見市・訓子府町・置戸町）で負担している費用も毎年増加している現状の説明があり、利用向上に繋がるアイディアや要望等、地域の皆さんのご意見をお聞きしました。

しかしながら、今後、町では地域巡回バスの運行に対するアンケートの実施も予定していることもあり、参加者からの発言はありませんでした。

町　長

北見バスは、勝山線だけではなく緑清園から出発する便や陸別町とつながる路線のいずれも利用者が減っている状況で、北見バスとも今後について考えていかなければなりません。

地域巡回バスは、試験運行の利用実績や利用者の意見も聞きながら、より利便性の良い運行方法に向けて見直しを図っていきたいと思います。

【テーマ】勝山郵便局の移転について

勝山郵便局が現在の建物から勝山公民館内に移転するため、現在、公民館内で改修工事が進められており、町から具体的な工事内容やスケジュール、進捗状況の説明がありました。新しい勝山郵便局では地区の皆さんの利便性向上のため、一部の役場の手続きを済ますことができるよう戸籍謄本や住民票の写し、納税証明書などの交付が可能となることが提案され、懇談が始まりました。

参加者

工事期間中に葬儀が入った場合の対応や今後の郵便局の運営について教えてください。

町　長

工事の受注業者と相談をして支障にならないよう対応を取りたいと思います。勝山郵便局は勝山地区の皆さんと知恵を出し合って勝山公民館内に

移転することになりました。仮に今後、人口減少が進み郵便局の閉鎖という話が出た場合、勝山郵便局の存続に力を入れていきたいと思います。

副町長

勝山郵便局の完成は３月中旬を予定していますが、郵便局側の物品等の搬入などもありますので、業務開始は年度明けの４月以降になると考えております。

置戸地区

●11月15日（火）●中央公民館 ●参加者19人

【テーマ】空き家、空き店舗対策について

町からは空き家、空き店舗を取り巻く現状や空き家に対する本町の助成制度、新規開業者への支援策などの説明があり、今後の対策について、地域の皆さんにご意見や考えをお聞きしました。

参加者

置戸高校の教員住宅が使用されず空き家となっているように見受けられます。北海道と話し合い、町に譲ってもらっても使い道はないのでしょうか。

町　長

町に明確な目的があれば協議することは可能かもしれません。しかし、昨今の移住者などは、より近代的で備品が揃っている住宅を希望する傾向にあります。住宅改修に相当な費用がかかる状態であり、移住者がひっきりなしに来られ、住宅が足りない状況であれば検討したいところです。

参加者

町営住宅も同様ですが、人が住んでいないと管理がされず、草が伸び放題となっています。車道と歩道の継ぎ目に生える草は鍬で刈れないため、町内会で除草剤を撒いていますが、高齢化に伴い作業も難しくなっています。

副町長

教員住宅の環境整備は、北海道と協議していきたいと思います。町営住宅の周辺は年２回の草刈を行っておりますが、巡回をしながら適宜対応したいと思います。

【テーマ】地域巡回バスの路線拡大と運行内容の見直しについて

勝山地区と同様に、町から11月1日から試験的に運行している内容や昨年度の利用状況、運行に対するアンケートを実施予定であることの説明がありましたが、参加者から意見などはありませんでした。

置戸高校生支援事業（ホストファミリー制度）

懇談テーマとは別に、町から全地区の皆さんに置戸高校生への新規支援事業の説明がありました。

置戸高校は、令和５年度の入学者から全国から生徒を募集することが実現しました。町では全国募集に伴い、来年度から博愛寮に入寮する生徒に対して閉寮時に帰省する際の交通費支援や帰省されない生徒に対して「ホストファミリー制度」を導入します。この制度は、寮の閉寮期間（夏休み・冬休みなど）に地元へ帰省せずに町内に留まりたい生徒が町内のご家庭で生活しながらアルバイトなどを体験し、置戸ならではの思い出を作ってもらうものです。置戸高校生を受け入れ可能なご家庭（ホストファミリー）を募集しますので興味をお持ちの方は教育委員会学校教育課（☎52-3316）までお問い合わせください。

町長より皆さんへ －移動町長室を終えて－

４地区での移動町長室では、各地区の課題や町政に対するさまざまな意見をいただくことができ、感謝申し上げます。

一つひとつの積み重ねで町は良くなると思います。解決策は１つではないかもしれませんし、解決手段は１人の力で解決できるわけではなく、町民の皆さんと行政、関係機関、各団体と力を合わせて解決策を見いだしていかなければならないと実感しております。

今回の移動町長室だけではなく、庁舎の町長室の扉も開けていますので、これからもご意見いただければと思います。

■お問い合わせ

企画財政課地域情報係（☎52-3312）

第57回置戸町表彰式

第57回置戸町表彰式が２月19日（予定）に中央公民館で開催されます。令和４年度の表彰者として受賞される方々の功績と栄誉を称え、お名前と業績をご紹介します。

社会貢献表彰

篠原　正博氏（安住）

肉用牛経営において徹底した管理を実践し、高品質な肉牛の生産が高く評価され、令和４年度北海道枝肉共励会交雑牛の部で最優秀賞を受賞されるなど、地域農業の振興と発展に貢献されています。

社会貢献表彰（白寿）

平塚　功夫氏　　**葛葉　サキヱ氏**
伊藤　春美氏　　**渡邊　茂　氏**
村田　トク子氏　　**伊藤　ヨネ子氏**

善行表彰（行為）

上石　直恭氏（勝山新生）

長きにわたり、町内老人福祉施設等へ自家農園で栽培した野菜の提供を続けられるとともに、近隣の除雪を率先して行うなど、地域に対し自主的かつ積極的な奉仕活動に取り組まれました。

善行表彰（寄附）

黒川　新一氏（若木）
江岸　勝市氏（川南）
加藤　幸子氏（北見市）
鈴木　栄樹氏（宮下）

勤続表彰

■**置戸町立図書館協議会委員**
石井　真智子氏（20年）

■**消防団員**
菅野　舜　氏（40年）
石村　博樹氏（30年）
大崎　麻生氏（20年）
奥山　拓博氏（20年）
北　　英治氏（20年）

表彰状の伝達

小林　登美氏（中央）

女性の社会参加等への貢献により平成6年に日本善行会秋季成人善行賞、平成27年に特別表彰「銀賞」を受賞し、現在もなお、その善行活動に尽力され、日本善行会特別表彰「金賞」を受賞されました。

はぐるまの会

酪農業に嫁ぐ女性を中心に本町で加工品開発を行い、生産者などの模範となるとともに、開発された牛乳豆腐が町の特産品となるなど、地域に対する貢献活動が高く評価され、日本善行会善行表彰を受賞されました。

※掲載は年齢・年数順及び寄附の受納日順

お正月企画読者プレゼント　ご意見・ご感想をお待ちしています

応募された方にオケクラフトをプレゼントします。応募者多数の場合は抽選となります。結果は景品の発送をもってかえさせていただきます。

［応募方法］

郵便ハガキ（FAX、Eメール、グーグルフォーム可）にて**次の問いにお答えください。**

①**「広報おけと」で取り上げてほしい内容やご意見、印象に残った内容やご感想について**
②**「置戸町ホームページ」で知りたい情報、ご感想について**
③**「置戸町公式YouTube」をご覧いただいたことがある方は、取り上げてほしい内容、ご感想について**を記入して、**郵便番号・住所・氏名を明記**の上、令和５年１月20日（消印有効）までお送りください。

［応募先］

【宛先】〒099-1100　置戸町字置戸181番地
置戸町役場企画財政課地域情報係
【FAX】52-3353　【メールアドレス】joho@town.oketo.hokkaido.jp
【グーグルフォーム】 https://forms.gle/HwpAqXXCdA5UiP9J9

（グーグルフォーム）

地域おこし協力隊活動日誌

＼みなさん、お元気ですか？／

地域おこし協力隊員　吉田　雅智

お久しぶりです。置戸町に移住して早くも１年が過ぎ、春夏秋冬さまざまな顔を見せてくれた置戸の大自然を満喫し、季節が変わるごとに魅せる自然に感動しっぱなしでした。

鹿の子沢の「森林ウォーク」で初のネイチャーガイド。最高齢83歳の方が２名参加していただき、周りの助けを借りながら登頂。参加者全員がケガなく無事に下山することができて、とても楽しい時間を過ごすことができました。

大好きなおけと湖で開催した「おけと湖一周サイクリング」では、湖畔を走っているとエゾシカや蝦夷ライチョウがお出迎え。野鳥の声を聞きながら、大自然の中でサイクリングを満喫することができました。

挑戦したかった「おけと湖でのＳＵＰ（サップ）」。地域おこし協力隊の皆で体験し、その様子の撮影もしました。湖の上を自由に行動しながら見る360度の大自然は格別です。講師の方も、こんな素敵な場所はなかなかないと、置戸町の凄さを体感してくれました。

この１年で色々なイベントに参加して、多くの人と交流させてもらいました。人間ばん馬（模擬レース）では、地域おこし協力隊のチームで参加。あんなに辛いとは思ってもみなかったですが、協力隊の皆もいい経験ができ、楽しんでいました。

活動も２年目に入り、これからも置戸町の魅力を発見していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

喜びと悲しみ（敬称略）

■ご出生おめでとうございます

○倉本　龍之介　未旺　女児　璃來（りこ）　林友　11/2

■ご結婚おめでとうございます

○石川　順・工藤　美沙　秋田　11/14

■お悔やみ申し上げます

○守谷	幸男	90歳	緑清園	10/30
○楠原	保弘	80歳	常楽園	11/2
○鈴木	トシ子	88歳	心和	11/10
○山本	豊子	87歳	緑清園	11/13
○樋渡	美代子	100歳	常楽園	11/13
○朝風	武暢	68歳	勝山新生	11/14
○石川	ミヤ子	93歳	若木	11/19
○池田	由人	81歳	拓殖	11/23
○荒屋	藤五郎	89歳	北光	11/27
○山岸	フヨ	106歳	常楽園	11/28

人の動き

●世帯数	1,387世帯（−9世帯）
●人　口	2,682人（−9人）
●男1,240人（−9人）女1,442人（±0人）	

令和４年11月30日現在（ ）内は10月末比

置戸の情報をインターネットでチェック！

人と、木と、おけと　ホームページ　YouTube

■今月号の表紙：朝日を眺めるアオサギ像　裏表紙：青空へ続く道（安住）［多田和弘氏撮影］

広報おけと　2023年1月号　no.884
発行/置戸町　印刷/㈲サンコー社